

新春春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

「埼玉人権を考えるつどい」

行事負担金1625万円が使途不明

県東部の12市町は、部落差別の問題に取り組み民間団体と実行委員会をつくり、毎年秋に「埼玉人権を考えるつどい」を実施してきました。12市町が主催し、久喜、春日部、越谷など5市で開いてきました。今年は、春日部市が会場になる予定となっています。

2625万円のうち、

1625万円が不明

中心的な役割を果たしてきた久喜市によると、この行事への負担金は、10年間

で合計2625万円となり、

春日部市長岩谷一弘様

2024年4月 日

日本共産党市議団

団長 並木としえ

大野とし子

今尾やすのり

木下みえ子

「埼玉人権のつどい」実行委員会の使途不明金について

春日部市を含む県東部地域12市町が参加する「埼玉人権のつどい」実行委員会市町が10年間に負担してきた2625万円のうち、1625万円が使途不明になっているとの新聞報道がありました。

日本共産党市議団は、かねてより特定の団体が深く関与する事業で開催そのものを疑問視してきました。この機に春日部市としても改めて検討することを求めます。

そのためにも以下の内容について説明を求め、要望します

①使途不明金について全容解明を求めます。

②24年度は春日部市が「人権のつどい」開催地となります。

しかし、使途不明金について全容が明らかになり、必要な是正策がとられなければ「つどい」実施を見送り、実行委員会の開催や春日部も脱退するなどの検討をすべきです。

③実行委員会の収支報告はどのように行われてきたか説明してください

④これまで久喜市が中心的な役割を担ってきたということですが、その久喜市が脱退したことで「つどい」や実行委員会の今後の対応について、わかれていることがあれば、説明してください。

今年2月以降10年分の残りの資金の使い道を代表に問い合わせたところ「目的に沿った支出をしている」という趣旨の文章が届いたが、出納簿や領収証が示されなかったということ使途不明状態と判断したとのこと

市議団は、市に対して今後の対応等について懇談を申し入れました。現時点では、答えられる段階にないということ延期となりましたが、久喜市を除く11市町でしっかり協議していくことを求めました。

左表が申し入れの内容です。

4月28日号と5月5日号の日曜版は、合併号となります

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえTEL737-4576 大野とし子TEL746-6136 今尾やすのりTEL761-3676 木下みえ子TEL734-4677

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



コロナ禍を通して視えた 地域医療・介護の課題

4月20日、春日部市立医療センターの充実をめざす市民の会第11回総会がおこなわれ、医療生協さいたま協同病院院長で全国民医連会長でもある医師の増田剛氏が「コロナ禍を通して視えた地域医療・介護の課題」と題して記念講演をおこないました。

増田氏の講演の要旨を紹介します。



医療機関はもともと慢性的な経営危機

コロナ禍の4年間でさまざまな変異株が出現し、9万5千人もの命が奪われた。流行直後から感染症指定医療機関の入院病床の不足が明らかになり、防護服や検査薬も不足、感染症や健康危機管理に対して必要な人材確保がおこなわれていなかったことが、改めて明らかになった。

しかし、感染症の備えが不十分だったということにとどまらず、医療機関はもともと慢性的な経営危機に陥っている。産業別の経常利益率は、ソフトウェア15・4%、パチンコ13・8%、銀行10・8%に対し医療機

関は0・0%。「入院基本料引き上げ」嘆願書が4605病院から出されている。

緊縮財政で命を奪っていいのか

政府は「コロナ対策で多額の予算を注ぎ込んできた医療提供体制において、さまざまな課題が浮かび上がった」「最大の財政悪化の要因である社会保障関係予算の投入には慎重を期さざるを得ない」などと医療費の高騰を敵視し、医療費高騰の犯人捜しを進めている。その結果、医療費が増加する主因は医療技術の進歩であり、高額な医療機器や薬剤の扱いは検討すべきという議論がおこなわれている。しかし、緊縮財政で命を奪っていいのか！緊縮財政を拒否したアイスランドでは保健医療予算を増やし経

済を回復させている。医療・介護のニーズを雇用や生業につなげる発想が必要ではないか！

連帯の力で乗り越えよう！

人口当たりの医師数がOECD加盟国最低という医師不足の中、4月から医師の働き方改革で診療を縮小せざるを得ない状況が生まれている。

まさに今、日本は岐路に立たされている。高齢化が進み、医学が進歩することによって医療や介護の費用が増加することは避けられない。命と健康を守るためには主権者として政治や社会に働きかけることが必要。「戦争の準備でなく医療・介護の充実を！ミサイルよりケアを！」と声を上げ、連帯の力で乗り越えよう。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
4/28(日)わかば診療所(内科系)小渕1593TEL753-3530 いぶきこどもクリニック(小児科系)
大枝309TEL735-0854 みやざわ耳鼻咽喉科(外科系)中央1-52-8TEL745-8733
5/5(日)みくに中央クリニック(内科系)中央1-56-18TEL737-5400 宇野クリニック(小児科系)
粕壁1-6-5-2階TEL760-3711 山崎整形外科(外科系)牛島1081-3TEL763-5011